

**<能力強化事業（講演）> 「知って考える、その先の実践へ」**

ICAN 日本事務局  
西坂 幸  
～プロフィール～

大学卒業後、民間企業での事業所運営や広報業務を得て2018年9月より現職。

アイキャンでは、これまで20年以上に渡り、教育機関や企業と連携した国際理解教育を実施しています。社会を創っている私たち一人一人の意識を変えていく為にも、講演会や持続可能な開発目標（SDGs）促進活動、フェアトレード販売活動等の日本における活動は、海外事業地での子どもたちとの活動と同じぐらい力を入れて取り組んでいます。こうした活動を通して、「世界の課題を知る事ができた」「自分にできる事を考えたい」など、嬉しいお声を頂く事も多いのですが、一方で「知る」ことや「考える」ことだけでは、社会を変えていく事はできないのも事実です。

10月20日、国際理解教育の一環として、名古屋市立北高等学校において、貧困問題に関する講演を実施しました。アイキャンが講演を行う際に大切にしているのは、世界の課題を知ってもらう事に留まらず、地球規模の課題を自分事として捉え、解決に向けて行動する人を1人でも増やすきっかけを作る事です。そのため、日本で生活していると経験した事もなく、想像する事すら難しい遠い国の紛争や貧困に関する話を、いかに身近な問題として捉えてもらえるかを常に意識しています。今回の講演では、貧困問題を解決するために「高校生としてできること」等を出し合うグループワークの時間を設けました。生徒の皆さんたちには、付箋に具体的な自分のできる行動を書いてもらい、「SNSで世界の現状について拡散する」「実際に現地を訪れる」「ボランティア活動や国際協力イベントに参加する」など、多くの「できること」が発表されました。

しかし、このような講演の多くは「できること」を考えるだけで終わってしまい、実践まで行動に移してもらう事は難しいことも多く、力不足を感じて悩む事も多々あります。そのため、アイデアがアクションに変わるところまでを見届ける事ができた時には、非常に嬉しく、胸が熱くなります。同時に、こうした人材を育てていくためには、教育機関や家庭によるサポートが不可欠だとも感じます。同校とは、学んで考える、その先の「実践」までを見据えた活動を長年ともにしてきました。過去には実践として、Skypeによるアイキャンの事業地の子どもたちとの交流や、日本の遊びを紹介するビデオ製作などを、生徒の皆さんが実施してくださいました。先生からも「先輩たちはこれまで様々な事を実践に移してきた。皆も考えるだけでなく、実践に移してほしい」と力強いメッセージが届けられました。そして今回も、実践として、マンスリーレポート9月号で紹介したフェアトレードマスクを販売して頂くことが決まっています。



日本にいると、世界の課題について考える機会は少なく、さらに知った後も具体的に何をすれば良いか分からないと思う方も多いと思います。そうした方々にとって、アイキャンの国際理解教育が、行動に移すきっかけとなれるよう、そして実践まで繋げていける人材を育てたい。今後も各機関と連携して活動して参ります。

**フィリピン事業**

10月7、8日/ケソン市（フィリピン）

**新型コロナウイルス感染予防啓発活動を実施**

10月7、8日に、マニラ首都圏のケソン市2ヶ所において、新型コロナウイルス感染予防のための啓発活動を実施し、参加者193名の住民たちの感染症予防に関する知識が向上しました。活動終了後、参加者からは「最近気が緩んでいました。

近所の子どもがマスクをせずに外を歩き回っているので、しっかりと今回学んだことを伝えていきます」などの声が聞かれました。

**ジブチ事業**

10月20日/ホルホル（ジブチ）

**難民ボランティアの青少年へ研修を実施**

エチオピアやソマリアからの難民が多く生活するホルホル難民キャンプで、子どもの広場運営を補助する青少年ボランティア15名に対し「自己啓発」に関する研修を実施しました。研修参加者からは、「難民キャンプの中でもふとしたところ

にいろんなチャンスは転がっていて、そういうことに前向きに目を向けて行こうと思った」と前向きな感想が聞かれました。

**能力強化事業（NGO 相談員）**

10月9日/東京（日本）

**大学のオンライン授業で特別講師として出演**

10月9日、国士舘大学のオンライン授業に特別講師として出演しました。講演テーマの「国際社会におけるNGOの役割」について、フィリピンでの活動事例をもとに講演を行い、受講した学生からは「自分が当たり前だと思っていたことが、貧困に悩む国では当たり前ではないなど、『普通』について改めて考えさせられた」との感想をいただきました。

**ボランティア・寄付推進事業**

10月/名古屋（日本）

**事務所ボランティア受け入れ再開**

新型コロナウイルスの影響で中止していた事務局ボランティアの受け入れを再開し、10月は合計15名の方にお越しいただきました。再開のお知らせ直後、「ボランティア再開のお知らせ、嬉しく拝見しました」とのお言葉をいただき、職員一同大変嬉しく思いました。検温や消毒などの感染対策を実施の上、事務所ボランティアにご協力いただいています。

同大変嬉しく思いました。検温や消毒などの感染対策を実施の上、事務所ボランティアにご協力いただいています。